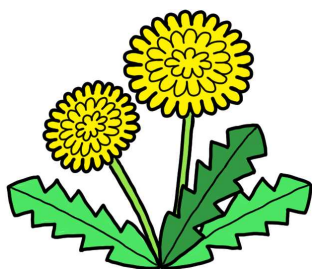


# さくら



令和5年4月17日(月)

## 言葉と言葉遣い



新学期が始まり、1週間が過ぎました。新しいクラスで緊張した人もいたかもしれません。しかし、適度な緊張は私たちを成長させてくれます。新学期初日の前向きな気持ちを、これからも持続させていきましょう。今週も授業を大切にするとともに、クラスの仲間と協力し、学校生活を楽しいものにしていきましょう。

さて、今回は「言葉と言葉遣い」について皆さんに伝えます。心のこもった温かな言葉は、それを受ける人に生きる力を与えてくれます。しかし、心ない冷たい言葉は、そのたった一言が人の命を奪うことさえあります。

また、会話が交わされるとき、そのやりとりは「言葉のやりとり」だけではありません。そこには必ず、言葉を発する人の心がついてきます。例えば、「おはようございます」というとき、心に良い「気」が満ちているときは、明るく元気なものになるでしょう。しかし、気持ちが落ちこんでいるときには、元気のないものとなってしまいます。また、人に何かを頼むとき、感謝の気持ちがあれば、謙虚な言葉遣いとなるでしょう。しかし、心に余裕がないときには、つい命令口調になってしまうかもしれません。このように、私たちの心のありようと言葉や言葉遣いは結びついているのです。

だからこそ、私たちは自身の言葉や言葉遣いに心配りをする必要があるのです。「言葉遣い」は「心遣い」です。

優しさのある言葉を使いましょう。思いやりのある言葉がけをしましょう。人を不快にさせる言葉を使わないようにしましょう。また、正しい言葉遣いも大切です。とりわけ、皆さんが目上の人と話をするときは、敬語を使いましょう。これらを実践することで、皆さんはよりよい人間関係を築くことができるようになるのです。

〈保護者の皆様へ〉

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

